

高麗地区第 6 回学校運営協議会会議録

令和 7 年度高麗地区第 6 回学校運営協議会の会議結果は、次の通りです。

日 時	令和 8 年 2 月 1 7 日 (火) 1 0 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0
場 所	日高市立高麗小中学校 第 2 図書室
出 席 者	潮田 真也、横手 則和、黒木 一夫、 横手 幸江、澁谷 アスカ、小林 克己、高麗 奈美子、 加藤 久美子 (高麗小中校長) 利根川 典正 (日高市教育委員会) 小坂井 啓二 (事務局) 高島 ゆかり、永島 慎嗣、島崎 龍太郎
欠 席 者	長崎 麻比子、岡村 良夫
傍 聴 者	0 名
審 議 事 項 及び決定事項等	第 6 回高麗地区学校運営協議会 (授業参観) 1 開会 2 挨拶 学校運営協議会 潮田 真也 会長 ・2 年目からの高麗小中学校の運営がよりよくなるよう、忌憚なき意見をいただきたい。 ・本来 5 月に行われることが多い学校経営方針の承認を、新年度 (4 月 1 日) のスタートに間に合わせるため、今回 (2 月) 審議することが重要である。また、ボランティア精神 (見返りを求めない「利他」の精神) について、委員および地域ボランティアへの感謝と理念の共有をしたい。 3 教育委員会より 学校教育課教育指導幹 小坂井 啓二 様 ・1 年間、学校運営協議会を育てていただいて有難い。県からも素晴らしいと評価していただいた。前向きな提案ができることがよい。

・部活動の地域展開を行っていかないと、教員の時間的ゆとりや豊かな時間の確保はできない。

4 報告 高麗小中学校近況報告

・インフルエンザによる学年閉鎖が相次いだ。学校閉鎖までは至らないが、急激に感染が広まる傾向にあるため、学年閉鎖の判断をした。

・閉鎖明けでも落ち着いて生活している。6年生も、朝読書が非常に集中して取り組んでいる。

・9年生（中3）の進路決定が進んでおり、落ち着いて学習に取り組んでいる。その姿が下級生のよい手本となっている。

5 協議

(1) 学校評価システムシートについて

○校長より

・HPについて、更新は継続するが、学校だよりやLEBERを活用して情報発信をしていく。校長の長文よりも「子供たちの活動」を中心に掲載している。

・ミラクルガールズによる活動写真の掲示を通して、児童生徒・保護者・来校者に活動の様子を伝えていく。

・環境整備は他校と比較しても進んでいる。さらに良くしていくためにPTAや地域と連携して力を借りていきたい。

○委員より

・保護者が学校に来やすくなる機会（授業参観以外でも）を設け、掲示物等を見てもらえるようにしてはどうか。

(2) 令和8年度学校経営方針について

○校長より

・大綱・基本理念、日高市教育振興基本計画・教育ビジョンに基づき、学校教育目標、目指す15歳像、高麗小中ミッションは変えずにやっていく。

・教職員キーワードは自身の強みを生かし、自信をもって頑張れるように「強化」というワードを追加した。

・令和8年度の重点について

→子供たちからの要望が強かった「たて割り活動」の充実を

	<p>目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業における「振り返り」の質を向上させ、学力の定着（「できた」という実感）を図る。 ・県の委嘱事業として「食育指導力向上」の研究（前期課程）および入間地区の委嘱事業「ふるさと科」の発表（後期課程）を行う。 ・教職員の「働きがい（生きがい）」向上を意識し、ワークライフバランスを保ちつつ、子供たちの前で笑顔でいられる環境作りを目指す。 ・グランドデザインでは、児童生徒会による「縦割り活動」の明記、および地域連携として「地域学校協働本部」とのチームワーク強化を追記した。 <p>○委員より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高麗コミュニティ会議は来年度も継続するのか。 →今後、市と確認をしていく。駐車場事業が終了したことともない、解散も検討していく。 ・今後学校運営協議会メンバーが変わっても、理念を継続していける合言葉のようなものがほしい。 →「高麗っ子」を浸透させたい。 ・学校公開日を設定しているが、回数を増やした方がいい。いつでも来ていいというのは実際行きにくいことがある。周知に公民館だよりを利用するのはどうか。 ・義務教育学校になったことで、前期と後期の子どもたちが一度に見える。この利点を生かしていけるとよい。 →区長に伝達することで、学校に行こうという推進力になるとよい。 →名札の着用や記名等、不審者対策が必要である。 ・学校評価は、保護者の評価がしやすいように数値化するなど見える化の工夫が必要ではないか。 ・地域で情報を流しても、地域の行事や子ども会でも行事への参加率が低い。 →夏祭り等では子どもたちを多く見かけるが、ボランティアの参加率が地域全体で低下している。今までと変容している。 ・ワークライフバランスについて、先生方の生産性低下を避け
--	--

るためにも負担を減らしたい。研修で不在の先生の代理を補充するなど、流動性のある教員配置の制度を整えてほしい。

・教員の私生活の充実が強みを生み、それを教育に還元できると考えられる。教員が自己を大切にできるように過ごしてほしい。

・生活習慣の把握について、スマホ利用時間や睡眠時間などのアンケート結果（生活実態）を、今後は協議会でも共有してほしい。スマホ利用時間の長時間化と自己肯定感（褒められる経験）も関連している。

・他地区の事例と比較し、1年生から9年生までが同じ校舎にいる本校のメリット（異学年交流の自然さ等）を再確認し、地域や保護者にもその意義を伝えていく。

6 連絡

(1) 今後の予定

- ・ 3月13日（金）卒業証書授与式
8：20～40受付 9：00開式
- ・ 3月25日（水）前期課程修了式
8：35受付 9：00開式
- ・ 4月 8日（水）入学式
9：10～20受付 9：40開式

(2) その他

7 次回

- ・開催予定：5月中旬頃（新メンバーにて日程調整予定）。
- ・辞令交付
- ・令和8年度学校経営方針の承認

8 閉会